



## まんぷく通信 第2号

### 子どもたちと遠足に行ってきました！

給食支援をしているリーパー村チャイルドケアセンターの子どもたちと、遠足に出かけました。

政府の管轄が変り、子どもたちの給食費や牛乳が政府から支給されるようになったので経済的な支援からは2009年4月をもってAWCは撤退する運びとなったのですが、夏休み最後の一大イベントとして遠足が企画されたのです！

子どもたちの村から車でおよそ1時間。動物園に到着です。



整列していよいよ出発！

猿、鳥が中心のこじんまりとした動物園なのですが、普段村の外にすら出る機会が少ない子どもたちにとってはもう別世界。猿が「キー」と鳴いただけで後ろにのけ反って「うおー！」と大興奮。

現地カウンターパートであるミラー財団のボランティアのお姉さん・お兄さんがマンツーマンで面倒をみてくれましたが、あまりの興奮具合に皆驚いていました。

チャイルドセンターを卒業すると、小学校に併設された幼稚園に行くのですが、幼稚園に行っても小学生になっても家庭の経済状況が厳しければ動物園に行くことは難しいのが現実です。

2歳、3歳の子どもたちですが「あれはなんていう動物なの？」「え！ワニってこんなに



恐る恐る、エサをあげます



すごい大きい鳥！なんていう名前かな？

大きいんだね」「この鳥とあの鳥はすごく似ているよ」などと自分たちで観察し、多くのことを学んでいました。

お昼ごはんは、私たちが用意したお弁当をすごい勢いで食べました。たくさん歩いたからおなかがすいたんですね。

帰りは滝の近くの小川で水浴び。男の子たちは豪快に飛び込みをし、女の子たちは恐る恐る水に



今日のお弁当はバナナの葉っぱにくるまれているよ



冷たいアイスをおぼります

翌日、子どものお母さんの一人が「昨日は家に帰ってから寝るまでずっと動物園やアイスクリームの話をしていたのよ」と教えてくれました。

また機会があれば子どもたちとどこかへ出かけられたら嬉しいです。



ブランコ遊びも楽しいな

AWC チェンライ駐在員 原 梓

## 子どもたちと一緒に給食を食べてきました！

2008年夏、スタディツアーでリーパー村のチャイルドセンターを訪ね、子どもたちと同じメニューの給食を食べてきました。

大人と同じくらいのびっくりする山盛りご飯をおいしそうに食べる子どもたち！お客様(私たち)が一緒だったためか、ちょっと豪華なメニューだったようですが、それにしても、その食欲にはびっくりでした。



食べ終わった後は元気に外に出て、スタディのメンバーとひと遊びして、お昼寝…とはいつでも、興奮状態の子どもたちは、なかなか寝てくれず、先生たちを手こずらせていました。日本の子どもたちとなんら変わらない、子どもらしい子どもたちの元気な様子に参加者一同、目を細めて眺めていました。



AWCからリーパー村のチャイルドセンターへの直接的な給食支援は終わりましたが、これからもチェンライを訪れる機会があれば、このセンターを訪ね、子どもたちの様子を見守っていきたいと思っています。



## 支援先の変更について

タイ・チャンライ県リーパー村の「チャイルドセンター」は設立以来2008年10月までは「山岳民族福祉局」が管轄をしており、先生もそこから派遣されていましたが、2008年11月をもって「地域行政組織」の管轄に変わりました。何かと優遇措置がなされるため、以前から地域行政組織の管轄になることを望んでいましたが、それが叶ったのです。管轄が変わったことで、これまで「おなかいっぱいプロジェクト」で支援している給食費も地域行政組織が負担をすることになりました。

地方行政組織からの「給食費」は1日1人当たり10バーツ(約30円)の食費と3バーツ(およそ10円)の牛乳代です。調理をしてくれる調理員さんの給料やガス代などの光熱費は予算の中に含まれていないので、これを捻出すると子どもたちの食事の質が落ちることになります。

子どもたちの給食をなんとか栄養豊かなものにしたいと、AWCでは地方行政組織への移行後も人件費(調理員)と光熱費、消耗品費(ガスなど)の支援を継続してきました。その後、半年間の移行時期を経過し、子どもたちの給食もバランスのとれたものになってきたため、2009年4月チャイルドセンターの給食事業から撤退することになりました。

チャイルドセンターの子どもたちの栄養状況は改善されたことと、子どもたちの食べ物不足している所は他にもたくさんあるので、より必要とされている所に皆様からのご寄付を活用したいというのが撤退の理由です。

リーパー村「チャイルドセンター」へのご協力に心から感謝するとともに、今後とも「おなかいっぱいプロジェクト」をご支援くださいますようお願いいたします。



## 新しい支援先

新しい支援先はアーサーパッターデック財団が運営する「子どもの家」です。「子どもの家」は、タイ北部チェンライ県チェンライ市から北に60kmほど離れた町チェンセンにあります。ここはラオス、ビルマ、タイの国境がメコン川の上で重なるところで、ゴールドントライアングルのすぐ近くです。

「アーサーパッターデック財団」はストリートチルドレンの支援を行う団体で、彼等が抱える問題を解決し、より良い生活を送ることができるよう子どもたちの手助けをしています。「子どもの家」はストリートでの生活から抜け出すことを希望した子どもたちが共同生活をしている所です。

現在この「子どもの家」では4歳から18歳までの60人の子どもたちが生活しています。毎日の食事は当番の子どもたちが作っています。これから「おなかいっぱいプロジェクト」で、ここで暮らす食べざかりの子どもたちに一日3食の栄養たっぷりの食事を届けていきたいと思ひます。



# ご協力くださった皆さま

【書き損じはがき・切手】 (2008年5月～2009年11月)

相川治世 会田紀子 青井弘之 赤間幸子 赤松淳子 秋山洋子 浅野さとみ 朝廣玲子 阿部潔 安部春美 荒木芳江 安藤芳子 飯富陽子 池田妙子 池谷朋子 伊藤繁光 石井聡 石井代絵 石井トシ江 石井雅美 石田園子 石原久江 石渡和美 磯貝裕美 市原多美子 伊藤喜代治 伊藤忠寛 伊藤廣子 糸永三千代 稲葉浩子 井上婦美子 茨木夢子 今井一彦 岩崎直子 岩淵悦子 上杉暁子 上野智美子 内田磨美 内田淑子 内山章 梅原良子 浦田徳子 浦田美保 瓜本純夫 榎木英雄 海老原郁子 遠藤早苗 及川キエ子 大井美嬉子 大胡幾久子 大久保文子 大河内妙 大塚久仁子・南美 大場健志 大塚一弘 小笠原みちよ 尾形登志雄 岡部淑夫 小川智子 沖津久美子 奥井里江子 奥原百合子 小田朱里 落合一雅・貴美恵 小野初子 小野真由美 笠原文子 風間裕子 加藤弘子 加藤宏亭 加藤扶美子 上遠野美奈子 金井敏 金子清美 金子セツ子 金子靖治 金原マサノ加原陽子 亀井陽子 河合玲子 川口紀子 川口幸博 川崎浩世 川島富佐恵 河津久枝 川野安子 川辺次郎 菊池幸江 橋田和子 木下志徳 北爪一夫 北野圭子 北野雅美 北村美千子 木塚清枝 木原邦子 木村明広 木村祉園 木村正行 木村瑠美 香掛典子 久保征夫 玖村俊枝 黒沢晶子 黒須知二 久布白沙紀 桑原惇子 小磯キヨ子 高岸美佐子 甲田勝久 河野雅子 小暮修也 小嶋幸枝 小助川三郎 小高瑛子 後藤紀久代 後藤多恵子 五嶋敏子 小林智昭 小林那帆 小林みなえ 駒澤淳江 駒林矩子 小矢洋子 小山忠男 斉藤君夫 斉藤佳子 斎藤徹 笹川あさ江 佐々木とき子 佐藤千種 佐藤俊雄 佐藤二三子 佐藤ミツエ 佐藤みどり 澤木純一郎 三瓶もとこ 塩田泰子 繁村弘子 柴田美也子 清水雅子 ジュリエットローズ恵津子 正野尚子 城条洋子 城田美津子 神保隆二 菅原紀子 杉山澄江 鈴木晶雄 鈴木静香 鈴木哲雄 鈴木徹男 鈴木弘子 鈴木行雄 鈴木快枝 関野真二 曾我部律子 高丘慎 高階志津江 高品都 高橋君子 高安照代 瀧田久美子 田口恵子 田口五月 武井晴子 竹内澄江 武田小百合 武田信枝 立川由美子 立原淳子 龍田明子 辰巳亜貴子 巽司 田中哲夫 田中有子 田中幸男 田邊具子 谷まち子 田村アヤ子 段真奈美 茶木一城 陳慧綺 柘植明子 対馬喜美雄 辻脇奈茂 津田厚子 土屋聖子 堤京子 鶴見乃絵 寺田裕 戸倉みなみ 戸島貞子 留目隆史 友部由美子 華表道子 内藤クラ子 内藤大吾 内藤信義 苗代碧 長尾敏江 中川順子 中込陽子 中島香織 中嶋健一 永田敬子 中田直美 中塚孝子 中西和子 中根由紀子 中村孝太 中村田鶴子 中村直美 中村晴子 長谷信子 檜崎佳代子 西井まみ 能條照美 萩原悦子 萩本千尋 橋本彰 蓮尾美代子 長谷川邦男 畑田 畑尾祥子 服部清子 浜崎陽子 濱本洋子 林恵子 林さよ子 林孝子 林正樹 林八重子 原田茂子 原田幸子 半田あや 東幸子 比企しずか 平井洵子 平本啓子 廣島みどり 福和美智子 福島ゆみ子 藤木マサヨ 藤田真佐江 古澤初江 古田基純 保崎剛志 保科千秋 星野麻世 細根トミエ 堀江昭 堀江宏子 本田俊雄 前田啓子 前田純子 真木晶与 幕田由美 眞下奈々恵 眞武崇 松尾さゆり 松村絹子 松本妙子 松家律子 間屋裕子 丸田ふじ子 丸山発利 丸山佳子 満倉みち子 南恭子 南出英男 三宅マサヨ 宮崎恵子 宮崎研 宮本悠輔 宮本暢子 三好愛 三好慶子 三輪喜久子 村上絵美 村上玲美 村田順子 村富律子 靑山正行 守恭子 森川洋子 森下真理 森田亜紀 森前隆・山内シオリ 八木橋順子 矢島節子 安枝真奈美 安田衣里 柳原秀子 矢花世理子 山口秀子 山口松美 山崎暢子 山崎範子 山田優子 山元香子 山元千枝子 山本典子 山本嘉彦・博子 山本裕美 山本美恵子 山元やす子 吉池和子 吉岡啓子 吉澤肇 吉澤初江 吉田千里 吉田尚子 吉沼蓉子 米谷美恵子 若井正嗣 若松洋子 和田潤子 和田満智子 渡辺和美 渡辺静 渡辺ミエ子 吾妻印刷株式会社 池野歯科医院 神奈川県立港南台高等学校 共同オフィス 献血供給事業団駒込支所 東新プラスチック株式会社 東京YWCA 日本トータルカウセリングセンター 日本郵船株式会社CSR推進グループ・コーポレート・シティズンシップ・オフィス ファイバーリサイクル フォーラムあざみ野 本州リウム株式会社

## 【まんぷく基金】

相川治世 青山佳子 秋山洋子 朝廣玲子 阿部潔 荒木芳江 石井圭子 石北正道 泉谷良子 伊藤京子 今井一彦・則余 岩瀬佳子 梅原良江 及川キエ子 大井美嬉子 大木孝枝 小笠原みちよ 岡部淑夫 岡本絹江 岡本洋一 沖津久美子 小野初子 片山恵美子 金子セツ子 金田むつみ 川口幸博 川野増美 橋田和子 木野美穂 桑原惇子 小石素子 小島みゆき 小助川三郎 後藤充希子 小林 小林由佳 斎藤徹 三枝勇 酒井ユリ子 佐々木律 佐藤貴美枝 佐藤志津子 佐藤二三子 佐藤みどり 宿利元子 庄司武子 城条洋子 正野尚子 城田美津子 神保隆二 鈴木徹男 神保隆二 高品都 高橋邦尚 竹内知珠子 巽司 谷本広子 塚本善弘 対馬喜美雄 津田恵 寺尾和子 戸島貞子 苗代碧 中村田鶴子 中村紀子 中村典子 中村晴子 林八重子 原輝美 原田茂子 藤井照子 日比三枝子 古田基純 松井明子 松本明 松本妙子 松本佳子 丸山発利 武藤勝司 村上絵美 村上玲美 村田順子 靑山正行 八島真理 柳原秀子 山本典子 山本裕美 横山肇 吉岡啓子 吉田友子 吉村美智子 六波羅昭 渡辺ミエ子 支援キルトの会ふーぶ

## 【仕分け作業など】

安藤芳子 亀井絵里香 金子安男 河合克江 近藤俊子 茂田帆奈 清水雅子 城条洋子 城田美津子 田辺具子 西島由起子 仁藤里佳 原梓 廣島みどり 堀江五十鈴 牧孝 丸山佳子 山本博子

現地協力 チェンライ:原梓 チェンセン:出羽明子

現地管理協力 チェンライ:ミラー財団 チェンセン:アーサーパッターナードック財団

Special Thanks 母袋秀典 清水雅子 横浜AIDS市民活動センター



お名前間違いなどございましたら、事務局までお知らせください。

**皆様ありがとうございました。これからもよろしくお願いたします。**

## 引き続きご協力ください。

2007年12月に「おなかいっぱいキャンペーン」を開始し、「書き損じはがきで給食支援」の記事が朝日新聞に掲載されてから、今までに約40,000枚の書き損じはがきのご寄付を頂きました。未使用切手を同封して下さる方も多く、AWCからのお知らせの郵送などに大切にに使わせていただいています。

皆さまのご協力によってチャイルドセンターの子どもたちの給食は順調に提供されました。お知らせしました通り、この度新しい支援先も決まりましたので、今後も引き続き、書き損じはがきの募集を行っています。また、「まんぷく基金」にもご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

書き損じはがき・切手の送り先: アジアの女性と子どもネットワーク

〒231-0015 横浜市中区尾上町3-39 尾上町ビル9F YAAIC内

まんぷく基金振込先: 郵便振替 口座番号:00200-0-4109 口座名:AWC

\*1口 500円(何口でも可) \*「まんぷく基金」と明記してください。

# 各地に支援の輪が広がっています

## チェンマイ支部でもキャンペーン

地元にいる人にも「おなかいっぱいプロジェクト」を知ってもらおう、ということで、チェンマイでもTシャツを販売しました。といっても、国際協力関係のバザーがあるわけでもなく、販売の機会は2ヶ月間で2回。1回目は日本人のゴルフ好きの集会でパーティーをしたときに、2回目は地元のお祭りに出店した人のお店の端っこを間借りする形で売らせてもらいましたが、どちらともプロジェクトの意図を理解して下さった人がたくさん！日本人はもちろんのこと、観光に来ていた欧米人、そして地元タイ人の方にも買っていただくことができ、100枚用意したTシャツはほぼ完売！一人で何枚も購入して下さった方もいらっしゃいました。



チェンマイ在住の日本人だけでなく、タイ人のお客様もタイ文字のTシャツは珍しいと大人気でした！

### 定額給付金寄付キャンペーン

#### @ WE21さがみはら

アジアの人々を支援するためのリサイクルショップ「WE21ジャパン相模原」では6月1日～8月7日まで“定額給付金寄付キャンペーン”を開催、その寄付を「おなかいっぱいプロジェクト」にご寄付くださいました。店内ではおなかいっぱいTシャツや山岳民族の手工芸品の販売も行われました。

### おなかいっぱいキャンペーン @ 仙台

2009年9月12日(土)と19日(土)の2日間、ハビタットフレンズ仙台がおなかいっぱいTシャツを販売して下さいました。地元で大人気の楽天ゴールデンイーグルスの選手の家族の方々も販売会に参加、声をからして販売にご協力くださいました。

## 手作りグッズのプレゼント

支援キルトの会ふーぷからキルトとアンパンマン人形をご寄付いただき、チャイルドセンターの子どもたちに届けました。スタディツアーの際に持参したのですが、日頃おもちゃなどはあまり持っていない子どもたちはアンパンマン人形に大喜び！記念写真のために集合しましたが、人形と遊ぶことに夢中で、前を向いて写真を撮ることがなかなかできない程度でした。キルトは昼寝の時に活用されています。



手作りのアンパンマン人形に大喜び！

みなさまの愛情たっぷりのプレゼントに心から感謝申し上げます。

### 2009年も おなかいっぱいTシャツ・キャンペーン 実施中！！



昨年、大変好評で完売した もたい ひでのり氏のイラスト入りキャンペーンTシャツを販売中です。昨年とはデザインを変え、色も昨年希望の多かった黒を作りました。一枚1000円でご購入いただくと山岳民族の子どもたちに15食の給食を提供できます。ぜひご協力ください。デザイン・色・サイズもいろいろありますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。

## 送金報告

これまでにリーパー村の「チャイルドセンター」に子どもたちの食材費・教材費・設備費・調理員人件費などの資金として36万円を送金しました。

今後の支援先となるアーサーパッターナーク財団が運営するチェンセンの「子どもの家」に2009年11月に食材費として30万円を送金しました。

これからも支援を必要としている子どもたちの明るい未来のための「おなかいっぱいプロジェクト」にご協力ください。



## 編集・発行

編集：原 梓、安藤 芳子、落合 貴美恵

発行責任：山本 博子



Asian Women & Children's Network

### アジアの女性と子どもネットワーク(AWC)

〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町3-39尾上町ビル9F YAAIC内

Tel/Fax : 045-650-5430

E-mail : awc@h6.dion.ne.jp

URL : <http://www.awcnetwork.org/>